藝藩通志

御調郡三四

九十七 九十八

和書門
二二六〇五 號
二〇七 函
一二 架
九二 冊
類

內閣文庫
和 書 類
二二六〇五 號
九二 冊
七五 函
一一 架

內 二一〇二六號

內閣文庫
番號 和 22605
冊數 92 (60)
函號 175 171

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan

藝藩通志卷九十七

備後國御調郡三

戸口

牛馬舟船

山林

川瀆

島嶼

池塘

日本政府圖書
淺草文庫
圖書局文庫
内 一一〇一六號

社倉

物産

藝藩通志巻六十七

備後國御調郡三

戸口

家一萬三千三百五十四戸

人六萬三百四十五口

女二萬七千三百四十五人　社人六十七人

僧六十五人　山伏十四人　尼四人　醫者

十八人　瞽者五十人　屠者千三百四十四人

渋地村千三百十六戸、三千七百三十七人 山伏二人
医者一人 瞽者三人
屠者二百九十人

栗原村六百廿戸、二千七百十八人 社人六人 僧三人 瞽者三人

吉和村二百九十三戸、千三百廿人 社人三人 僧四人 医者一
人 瞽者二人
屠者十六人

吉和塩濱
同漁師町 百九十戸、千九十三人

木原村二百七十二戸、七百廿四人 瞽者二人

東野村三百七十三戸、八百九十八人 社人一人 僧四人 瞽

者一人 屠者
三十七人

西野村三百廿九戸、七百四十三人 屠者五十八人 社人二人 僧四人 医
者一
人

山中村三百七十五戸、七百七十二人

深村百廿九戸、五百八十五人 僧二人

久山田村百三十五戸、四百七十八人

中野村九十九戸、五百三人 僧二人 瞽者一人

木門田村百五十八戸、七百三十三人 瞽者一人

本郷村二百三十四戸、千二百三十一人 僧一人瞽者一人房者五十六人

市原村百三戸、五百廿九人 僧一人瞽者一人房者廿七人

白江村五十六戸、二百三十四人

三成村二百八戸、九百五人 僧六人房者三十四人

猪子迫村廿二戸、百廿一人 僧一人

木梨村百五十戸、七百廿六人 社人一人僧二人瞽者一人房者廿人

木梨山方村八十一戸、三百六十七人

梶山田村三百四十一戸、千四百廿五人 社人一人僧三人医者一人瞽者一人

小原村百九十八戸、八百九十三人 社人二人僧七人房者四十九人

菅村五十二戸、二百四十八人

菅山方村九十七戸、四百五十二人

大塔村四十二戸、二百廿人

仁野村五十八戸、二百七十四人

僧殿村四十二戸、百九十三人
平木村二十三戸、百廿人
篠根村七十四戸、四百人 社人一人 僧三人
河面村四十八戸、二百六十四人
小國村十九戸、百人
諸毛村二百十五戸、千十六人 瞽者一人
千堂村廿七戸、百廿三人
下山田村廿八戸、百廿六人 僧一人

大山田村七十二戸、三百六十五人 社人一人
宇津戸村二百七十五戸、千五十七人 社人二人 僧四人 瞽者一人 屠者廿八人
公文村五十戸、二百七十七人
高尾村十六戸、六十九人
神村三十一戸、百四十八人
貝原村四十七戸、二百廿人 瞽者二人 屠者四人
岩根村十一戸、七十人 屠者廿一人

本村四十八戸、三百三十三人屠者九十二人

三郎丸村七十九戸、三百九十四人瞽者一人屠者六人

河南村三十九戸、百九十三人

大蔵村四十六戸、百八十八人社人二人

白太村四十八戸、二百十二人

中原村四十六戸、二百十一人

大町村四十四戸、百九十一人医者一人

平村四十一戸、二百六人僧二人

花尻村十四戸、七十人瞽者一人

釜窪村七戸、二十九人

江田村三十六戸、百六十四人

國守村三十戸、百四十五人

畑村百十八戸、四百五十四人瞽者二人

市村百廿二戸、六百十八人僧七人医者一人屠者十七人

大田村八十六戸、四百九十四人山伏一人瞽者一人屠者百十二人

丸河南村九十戸、四百廿七人　社人一人僧二人医者一人

本庄村百十三戸、五百六十二人　医者一人屠者三十八人

義生村五十九戸、二百八十人　僧一人屠者十四人

宮内村十六戸、八十八人　社人五人僧二人

野串村四十九戸、二百十五人　屠者八人

屋中村廿四戸、百十三人　社人一人

福井村廿二戸、百十五人

葛村廿七戸、百廿四人

植野村九十六戸、四百十三人　瞽者一人

津蟹村百十五戸、四百八十七人　医者一人瞽者二人屠者十人

野間村四十三戸、百九十四人　社人一人

今田村六十六戸、二百七十四人　僧二人瞽者一人

丸門田村百三十戸、六百廿八人　瞽者一人屠者三十四人

徳永村七十六戸、二百八十三人　医者一人瞽者一人

信目村百三十一戸、五百七十七人　医者一人屠者十二人

大原村六十六戸、二百五十五人　社人十一人

吉田村八十戸三百五十一人 居者六人

莇原村五十八戸百九十四人

江木村百二戸四百七十六人 社人四人僧一人

下津村百廿三戸七百五人 社人二人僧四人瞽者二人居者四十四人

和草村百六十四戸七百四十七人 僧三人瞽者一人

泉村百廿三戸六百廿七人 社人五人医者四人瞽者二人居者十四人

羽倉村二百十戸九百五十一人 医者一人瞽者一人居者三十一人

坂井原村二百五十五戸千三百三十一人 社人一人医者一人瞽者二人居者二十八人

垣内村九十九戸三百八十四人 居者十九人

重井村三百八十一戸二千百七十三人 社人一人僧一人医者一人瞽者二人居者廿二人

田熊村三百七十九戸千八百九十五人 社人一人僧二人居者十一人

土生村二百十三戸、千七十一人 僧三人山伏三人瞽者一人居者九人

三庄村三百四十七戸、千五百三十九人 社人一人僧三人山伏六人瞽者一人居者廿人

椋浦百八十戸、七百四十二人 社人一人

鏡浦六十六戸、三百九十人 山伏一人

外浦九十三戸、五百四十五人 社人一人僧一人居者七人

中庄村四百廿二戸、二千二百八十五人 社人二人僧三人瞽者二人居者廿人

藝藩通志　卷

大濱村百五十八戸、七百九十五人 僧一人山伏一人

岩子島百四戸、五百四十五人 僧一人瞽者一人

向島東村百廿三戸、二千五百九十八人 社人五人僧四人瞽者一人

向島西村六百七戸、三千五百六十二人 社人二人僧四人瞽者二人居者百廿人

立花村百五戸、五百七十二人

天女濱
于濱 四十四戸百四十五人

當濱八十二戸三百十六人

牛馬舟舩

牛五千三百四十隻

馬千六百十七匹

舩六百四十三艘

渡地村牛二隻、馬三匹

栗原村牛二百八十五隻馬一匹

吉和村牛百四十八隻、舟四艘

吉和塩濱
日漁師町 舟百四十二艘 十の九ハ漁舟なり

木原村牛八十一隻
東野村牛百廿六隻
西野村牛六十五隻、馬五匹
山中村牛七十七隻、馬六匹
深村牛百十隻、馬十三匹
久山田村牛九十四隻
中野村牛六十七隻、馬十匹
木門田村牛七十八隻、馬四十八匹

藝藩通志 卷

本御村牛百四十九隻、馬二匹
市原村牛六十五隻、馬三十匹
白江村牛三十二隻、馬三匹
三成村牛九十六隻、馬六匹
椋子迫村牛十隻
木梨村牛八十五隻、馬十三匹
木梨山方村牛四十九隻、馬七匹
梶山田村牛百五十二隻、馬十九匹

小原村牛百五隻、馬三十匹
菅村牛馬各三十隻
菅山方村牛七隻、馬五十匹
大塔村牛十一隻、馬十八匹
仁野村牛三十五隻、馬廿匹
僧殿村牛廿七隻、馬八匹
平木村牛十隻、馬十四匹
藤根村牛四十隻、馬十七匹

河面村牛廿隻、馬五匹
小國村牛十八隻、馬六匹
諸毛村牛百廿六隻、馬百二匹
千堂村牛廿七隻、馬十三匹
下山田村牛四十隻、馬九匹
大山田村牛五十二隻、馬廿五匹
宇津戸村牛百三十三隻、馬五十九匹
公文村牛五十三隻、馬十二匹

高尾村牛十四隻、馬四疋
神村牛十八隻、馬十一疋
貝原村牛三十五隻、馬八疋
岩根村牛五隻、馬一疋
本村牛三十五隻、馬三疋
三郎丸村牛五十二隻、馬廿三疋
河南村牛廿四隻、馬九疋
大蔵村牛廿隻、馬五疋

白太村牛廿隻、馬八疋
中原村牛十二隻、馬十一疋
大町村牛廿九隻、馬十疋
平村牛廿一隻、馬六疋
花尻村牛十二隻、馬五疋
釜窪村牛三隻、馬一疋
江田村牛十八隻、馬十五疋
国守村牛八隻、馬十疋

畑村牛九十隻、馬廿五疋
市村牛三十九隻、馬三十六疋
大田村牛廿八隻、馬十九疋
九河南村牛五十三隻、馬廿二疋
本庄村牛五十一隻、馬廿九疋
羨生村牛四十五隻、馬八疋
宮内村牛十一隻、馬五疋
野串村牛廿五隻、馬十三疋

屋中村牛十九隻、馬二疋
福井村牛十八隻、馬十三疋
冪村牛十五隻、馬七疋
植野村牛五十九隻、馬四十二疋
津賀村牛六十二隻、馬廿五疋
野間村牛四十一隻、馬六疋
今田村牛五十二隻、馬十一疋
九門田村牛六十一隻、馬廿三疋

徳永村牛廿五隻、馬廿四疋
俵目村牛九十五隻、馬四十疋
大原村牛六十六隻、馬廿二疋
吉田村牛五十三隻、馬三十七疋
莇原村牛三十隻、馬四十疋
江木村牛六十隻、馬九十三疋
下津村牛九十七隻、馬四十七疋
和学村牛八十三隻、馬六十六疋

泉村牛八十五隻、馬四十七疋
羽倉村牛百四十四隻、馬四十九疋
坂井原村牛百七十八隻、馬百三十一疋
垣内村牛四十九隻、馬廿一疋
室井村牛百五十隻、舩四十九艘 五十石以下
田熊村牛五十五隻、舩廿二艘 二百石以下
土生村牛四十二隻、舩八十六艘 五百石以下
三庄村牛百六十三隻、舩七十六艘 千二百石以下

椋浦牛二隻、船三十五艘千五六百石以下

鋸浦牛十八隻、船九艘五百石以下

外浦船二艘六百石以下

中庄村船十八艘百十石以下

大濱村牛三十隻、船廿一艘五十石以下

岩子嶋牛九隻、船十九艘五百石以下

向島東村牛百八十六隻、船四十五艘五十石以下

向嶋西村牛二百五隻、船五十八艘五十石以下

立花村牛十二隻、船廿艘九百石以下

天女濱 千濱 船廿艘五十石以下

富濱船十六艘五十石以下

山林

宇根山 郡の西北にありて、當郡第一の大山なり、すべて此邊ハ土地至て高きに、又登る事廿町ありといふ、絶頂を鵯が丸とよぶ、麓ハ、吉田村、莇原村、宇津戸村、大原村、又槙野村の内、山罡、及ひ世羅郡、小世良、甲山、東神崎の数村に蟠り、山頂樹木なく、登れバ、伯雲の地を望むべし、

妙見山 諸毛村にあり

龍王山　宮内村ニ亘り、八幡峠山の内ニて、峭拔
の一峰あり、山の全体ハ、其麓四五村ニ亘る、
鷹羽山　垣内村ニあり、麓ハ坂井原村、及ひ豊田
郡佛通寺山ニ續く
高見山　向島ニあり、西村　立花村ニ亘る、
淨土寺山、西御寺山、房跡山、西國寺山　並に浚地
村ニあり、以下共ニ建(たて)山なり、
毘嶋山、古龍王山、新龍王山　並ニ栗原村ニあり

西山、高平山、畠田山、小串山　並に吉和村ニあり
福地山、鉢峯山　並ニ木原村ニあり
米田山、鉢峰山　並に東野村ニあり
櫻山、横山、野畠山、大串山、船山、大畑山、宇津木山、八
坂山、由佐古山　並に西埜村ニあり
宮迫山　中野村にあり
宮山、糸谷山　並に本郷村ニあり
内郷山、赤峠山、大日山　並ニ三成村にあり

宮山　大塔村にあり
地頭分宮山、領家宮山　並に宇津戸村にあり
八山　神村にあり
宮山、浛迫山　並に畑村にあり
天満山　市村にあり
宮山　丸河南村にあり
小松井山　津甓村にあり
宮山　丸門田村にあり

中連谷山　徳永村にあり
本俵目谷山、小山田谷山、神垣山、田中山、　並に俵目村にあり
間野渡山　坂井原村にあり
八幡山、馬神山、小畑山、八幡藪、　並に重井村にあり
宮山、鹿田山　並に田熊村にあり
宇和宇山、一本松山、　並に土生村にあり

美崎山、浮山、王子山、　並に三庄村にあり

寺崎山宮山　並に中庄村にあり

火建山、寺崎山、泉水山、瀧山　並に大濵村にあり

国子石山　岩子島にあり

亀山、三石山、　並に向島東村にあり

龍王山、有井山、串山、上江府山、下江府山、干潟山

並に向島西村にあり

釣濵山、高見山、妙見山、　並に立花村にあり

鴬薮　貝原村にあり

飯山　中野村にあり、以下共に禁山（とめ）なり

中畝山、鼓張山　並に菅村にあり、鼓張山ハ、國守

村と入合なり

西山　大山田村にあり

登歳岩山　國守村にあり

三角山　津蟹村にあり

瀧山龍王山　並に重井村にあり

原山　土生村にあり

小丸山　外浦にあり

古城山　立花村にあり

川瀆

御調川（こつき）　水源二あり、一ハ莇原村の屹立山、一は吉田村、宇根山より出る、江木村にて一となり、下津村、坂井原村を経て、垣内村に出、東に屈曲し、箕、津蟹、槙野、今田、丸門田、丸河南、以下の諸村を経て、藻根村に出る、凡六里ほど近く、それより福山領、又石村に出るなり、郡内所経の村々所にて、小川の流をうく、今悉く挙ずはあり、

河面川（かうも）　水源、世羅郡、村〻より出て、小谷村に至り宇津戸村より出る、水と落合て諸毛村に通し、福山領の久佐村、上河面村を経て、又當郡、河面村より、篠根村に通て、郡内所経、凡一里半、水勢は、御調川よりも盛なり、

木頃川（こごろ）　水源、深村の山谷より出て、中野、本郷、白江、三成、四村を歴て福山領、西村に出る、凡一里廿町なり

島嶼

因島（いんのしま）　郡の南、海上二里半にあり、周廻七里、村数九名にいの係、

向島（むかひ）　古名は歌島（うた）なり、尾道町の前にあり、陸を去る事六七町より八九町、周廻六里三十三町、村数三名に分る、

岩子島（いわし）　もと鰯の字なる歴し、向島と相連り、周廻六十四町余、一村あり、傍に小鰯島あり

鯨島(くじら) 木原村の属島なり、大小二あり、大ハ周囲二町餘、小ハ五十九間、

細島(ほそ) 重井村ニ属せ、大小二あり、大ハ周囲廿七町、小ハ十五町、又島の後ニ九十町四方の洲あり、細の洲といふ、

巴豆島(ともつ) 須ゝ女島(すゝめ) 波加乃嶋(はかの) 中藻礎 並ニ同村ニ属し、細島の傍ニあり、巴豆島ハ、一名四十島、周囲二町餘、其餘ハ皆三四十間、礁の類の

ゝ、中藻礎ハ洲なり、半分ハ豊田郡ニ属せ、一

姫小嶋(ひめこ) 三庄村ニ属せ、周囲五十二間

八重子島(やへこ) 大濱村ニ属せ、大小二あり、大も周囲一町

賀島 向島東村ニ属せ、周囲廿二町

岩島 向島西村ニ属し、小歌島とも云、周囲五町餘

衛府嶋(ゑふ) 同村ニ属せ、上下二あり、上ハ周囲五町餘、下ハ周三町

牛島　因村に属せり、大小二あり、大も周廻廿三間、小ハ九間許

笹嶋　小嶋並に立花村に属せり皆周廻五六十間に過ぎざれ、

尾道迫門　陸と向島との間、長一里半、濶十三町許狭き所ハ六町許あり、

牛口迫門　鰯嶋と向島西村との間長十町、濶一町、狭き所ハ、廿間にすぎず、漁舟の外通ふべからず、此間に、牛が首とあり、

布苅迫門　因島と向嶋とれ間、濶凡一里、茅の浦、木作礁あり、

弓削迫門　南ハ伊豫越智郡弓削島、北ハ因嶋三庄村、楠濱、濶凡廿町許、此間宇崎礁あり、

土生迫門　土生村沖と、伊豫越智郡生名島とれ間をいふ、長凡十六町餘、うちに砠長崎砠あり、潮満れバ皆見へず、

西浦迫門（にしうら）　田熊村沖より、中庄村、西浦沖までと、伊豫越智郡、竹島及び豊田郡、生口島の内、洲江、茗荷村との間と、西浦迫門といふ、長廿五町、濶西浦渡場まで、凡十二三町あり、廻なし、

山伏迫門（やまぶし）　重井村に、細島と、小細島との間、濶五町許、此間、牛ヶ瀬といふあり

池塘

槙峠池（まきとうげ）二所　峯渡谷池、五反田谷池、房路坂上池、

並ニ渡地村にあり

竹屋大池、池迫池、西奥池、赤良川池、佑屋峠池、松岡奥池、川上奥池、姥迫池、小皇子池、古毛迫池、花採池、國清池、明月田池、大原迫池、崔迫池、住塚池

並に粟原村にあり

五反田池、西谷池、玖土師池、平原瀬山池、安井池、鳴

瀧矢次池、傍員迫池、　並に吉和村にあり
天満池　東野村にあり
別所池　山中村にあり
峠池、魚切池、徊掛池、内記池　二所　吉久保池、中畑池、
大坪池　並に深村にあり
明現谷池、獵手峠池、田潤池、迫池、叶丸池、平池、叶丸
新池　並に久山田村にあり
貞信池、越田屋池、登迫池、志駄乃尾池、宮迫池、高聖

池、土地迫池　並に中野村にあり
吉岩池、高八池、宇津木谷池　二所　柳原池、大仁古池、
並に木門田村にあり
保也迫池、釜原池　二所　条谷池、上池、迫池、安不歳池、
池田池、小坂峠池、山神池　並に本郷村にあり
天神池、東谷池、坂根池、槙峠池、上寺池　并に市原
村にあり
内郷池、道面池、釜迫池、大迫池、木船谷池、弥迫池、

並に三成村にあり
向久保池　猿子迫村にあり
盗人谷池、助右衛門谷池、除迫池、淀谷池　並に木
梨村にあり
和太世池　木梨山方村にあり
茗荷池、枝峠池、般若池、二股田池、青木池、下和良比
池、戦奈原上池、雲戸平池　並に梶山田村に
あり

寺世計池、別作池、古登以迫池、大豆池、谷池　並に
小原村にあり
竹下池　菅村にあり
宮奥池　仁野村にあり
羽高池　諸毛村にあり
杁峠池、田中池　並に宇津戸村にあり
杉田池、大美武田池　並に公文村にあり
七塚池、高尾村にあり

池御地池　三郎丸村にあり

末奈慈利池　釜窪村にありて、大町、平、二村の灌漑なり

吹迫新両池　市村にあり

田丸池、天田池、早田池、近田新池　並に本庄村にあり

洞庭岩池、條岩池、小義山池、杖立池　並に義生村にあり

鏡池、前山池　並に植野村にあり

小石池　津軽村にあり

寅丸池　今田村にあり

大羽谷池、茶屋池　並に丸河南村にあり

明神池　徳永村にあり

四木池、畠中池、志年加以池、池久保池　並に績目村にあり

別當池 二所　吉原池 三所　並に江木村にあり

松迫池、正波牟池、大塚池、桐田池、水昊塲池、森木池、
宇治呑池、兜岩池、不計呑池　並ニ下津村ニあり
大峠池、西奥池、中通池　二所　大久保池、柘木池、風呂
谷池、荒巻池、池迫池、四分一池、二池切池、　並ニ
和草村ニあり
宗草池、上草池　二所　後山池　二所　土井池、三子池、服
原池、石田奥池、中休池、丸沢田池　並ニ泉村ニ
あり

烏帽子岩池、同上池、岩村上池、奈原木池、於津牟嵗
池、大峠池、同下池、新池、貞清池、長池、長五池、西原
池、清水池　並ニ羽倉村ニあり
嵜原下池、大池、宮向田上池、同中池、吉右衛門池、内
蔵下上池、同中池、土井池、砂小池、左津末池、大畜
池　並ニ坂井原村ニあり
和左太池、夜面呑池、志々穴呑池、須古恵池、山神池、
並ニ重井村ニあり

加称久利池、大将軍池　並ニ田熊村ニあり
奈賀加井池、越川池、也計也池　並ニ土生村ニあり
宝内池、大森谷池、田奥谷池、江良谷池、権現谷池、百
分谷池、南谷池　並ニ三庄村ニあり
大山奥池、大須床池、大山中池、同下池、奥山池、中須
池、重井迫池、同下池、田渡池、西浦池、片茄池、古口
池　並ニ中庄村ニあり
松井池、江良池、瓢池倉谷池 二所　並ニ大濱村ニあり

藝藩通志　巻

米山谷池、杤原谷池、土取谷池、大伴迫池、焼屋谷池、
赤迫谷池、遍源遠谷池、伴蔵谷池、大町谷池、茱萸
迫谷池、松峠池　並ニ向島東村ニあり
王子池、黒町池、神宮寺谷池、大迫池、川尻谷池、山中
谷池、長者原池、白片谷池、木船谷池、長江谷古池、
天神谷池、同上池、長江谷新池　並ニ向島西村
ニあり

社倉

麥四千五百五十三石三斗二升一合六勺　一郡

所備の總数なり

物産

秋大豆　諸毛、小國、二村ニ出る、佳なり、それらの星と称そ、

牛房(ごばう)　諸毛村ニ出る、大さ、まわり七寸餘ニ及ぶ、

蕎麦(そば)　田熊村の産、佳とそ、

芋(いも)　菅山方村ニ出る、前後芋と称し、味殊ニ佳之、

蘿蔔(たいこ)　東野村、大濵大根、世ニ、三原大根と称そ、絶品なり、向島西村、宇立但ニ作る、尓佳品なり、

獨活　千堂、三成、二村のその、佳なり
欵冬　蕨　蘘荷　並に、諸毛村に出る、佳なり
紫栗　勘原、宇津戸村などにあり、紫と共に刈る
栗の若きハ小成ヽ原實、殊に、味佳なりと云、
その佳なり
天南星　木天蓼　麦門冬　並に、諸毛村に出る
蒺藜子　向島東西二村、立花村に生き、年々、幕府
進献の用となる、

藝藩通志 巻

高陸青木香　上ハ市村、下ハ大山田村に出る、
皆佳なり、
桜草　吉祥艸　上ハ野間村、下ハ畑村にあり、
烟草　山中村、加羅加波に出るもの、名品なり、世
にハ、三原たばこと称す、
草棉　植野村、柳といふ地に作る、絶品なり、柳條と
称す、
楮　河面村に多く作る、性佳なりといふ、

白柿 鐵柿 因島、村々、多くあれども、田熊村、殊に多く製す、

黒砂利(くろざり) 三庄村、有濱にあり

石炭(いしずみ) 桃石(もゝいし) 並に、坂井原村にあり、石炭ハ、加禄塲といふにあり、堀出て焼べし、俗に火石とよぶ、桃石ハ、かうりといふ地に多し、形桃に似たり、

香魚(あゆ) 河面、篠根、二村にて捕る、味甚佳なり、延喜式に、備後の押年魚(おしあゆ)見ゆ、

江瑤柱(たひらぎ) 重井村、向島東村に、これを捕る、

白魚(しらうを) 三庄村、年の十二月、初潮に捕る、かゝになりといふ、魚の子なり、

牡蠣(かき) 向島歌浦に出る、歌蠣と称す、

烏賊(いか) 歌浦の人、八十八夜より、網をおろし、五月まで捕る、其利少からずといふ、

莨(たはこ) 平村、柏木井手の産、大にして、光も、他にまされり、

柿漆(しぶ) 諸村にもあれど、三庄村、殊に多く製して、
廣く賣出せり、
藺(ゐ)席(ひしろ) 沼地、栗原、三成、以下十三村、これを製せり、其
村皆藺を作る、藺ハ寒中に植へ、春に及ひて、去
むく草をとり耘ひ、六月土用の初に、刈收む、其期
を過きれバ枯る、期に及バざれバ、光澤なし、刈て流
水にひたし、日に晒(さら)せ、一時、山野に敷て、乾(か)せるに、
もし、夕立雨などに逢へバ、色あしくなりて、用ふべ
からず、席に、おとる、其精しきハ、凡一人、一日に一枚
を織る、是所謂備後表(びんごおもて)なり、藩府の用に給し、其
餘ハ、四方に、發賣する、當郡第一の産なり、
花莚(はなござ) 賀嶋より、織出せし物、於島莚と称せ、
美にして、愛すべし、
塩 吉和村に、廿一戸、向島、干濱、天女濱に、廿一戸、
同富濱に、廿九戸、因島に、一戸ありて、一戸、一年
焼ところの塩、凡三千四五百苞、五斗入 尾道行店

に出し、春夏ハ小国、秋冬ハ近國に賣る、

棉布（もめん） 因島村にて多く織出るも、重井（しげい）木綿とて、此殊に名あり

鉄器 宇津戸村に、御免鋳物師の家ありて、鍋釜耒鉏（すきくは）、鑵子（くわんす）の類を造る、

竹器 大田、德永、俵目など数村の土の、竹籮（たけかご）、荷籠（にかご）ふごみ、種々の器を作る、

箬笠（たけのかはかさ） 栗原村に作る、

藺笠（ゐかさ） 浚地村に作る、藺の編笠なり、又近方、名物なり

棕櫚帚（しゅろはうき） 三成村に作る

木器 大塔、仁野、平木、村々より、人家雑用の器を製す、

火縄（ひなは） 大原、植野、吉村に製す、

皮鞋 浚地村、屠戸（えと）これを製し、尾道雪駄となす、

藝藩通志巻九十八

備後國御調郡四

祠廟

寺院

藝藩通志巻九十八

備後國御調郡四

祠廟　廢祠附

加羅加波神社　山中村の内、加羅加波谷といふにあり、延喜式神名、御調郡一座加羅加波神社とある是なり、太玉命瀬織津比咩命、天鈿女命を祭るといへり、或ハ大山祇神のことを祭るといへれど、恐らくハ誤ならん、今或ハ加羅加波大王と稱す、思ふに太玉の

字を、誤りしなるべし、加羅加波ハ、もと此一村の名なりしと云伝ふ、今ハ社のある地のミ、其名を存せり、小早川隆景の時に、神田四五町を寄附ありしが、福嶋氏の代に、これを没収となり、今村内に、修理免、油免、流射免などいふ地名残れり、毎歳正月に、梅の木を以て、弓を作り、鬼の字を、的にかきて、二まとを射る、祠官まづ東に向て矢を放ち、里民の来り会するもの、各一矢をはなつ、これを流射

神事といふ、今も、この事を、おこなふ、いにしへの遺称なるべし、末社五字あり、

瀧宮　同村にあり、素戔嗚尊、瀬織津比咩命、湍津比咩命を祭る、

八幡宮　同村後山にあり、俗に平家八幡と称す、或ハ云、平家の霊を祭ると、墳墓の部、併見るべし、

天王社　王子社　山神社　並に同村にあり

艮神社　大蔵村にあり、伊弉冊尊をまつる、同殿に

清瀧神龍王あり、當村及び、白太、中原、平、大町、釜窪、江田、國守、菅、大塔、山方、平木、仁野、傳殿、河南、篠根、すべて、十六村の民、同く祭る、按に三代實録、貞觀二年二月廿八日己酉、授備後國、正六位上、大藏神、從五位下とあり、郡名を、言ずれども、昔より此社のある地を、大藏といひ、祠官なども、大藏坊と呼しといふ、今隣村、白太にも、大藏とよぶ地あり、これ、その住し地といへり、白太を、和名抄に載る伯

藝藩通志 巻

多にて、古き郷なり、昔は當村も、白太の内なりしが、分て二村とするに及て、社地の名を以、その一村に、當らしむるを見てあり、されば、その名を着き社と見にまむ、貞觀位階を授かるは、必此社なるべし、境内に小社三宇あり、

隠島神（いんしま） 三代實録、元慶二年戊戌十二月十五日丙子、授備後國無位隠島神、從五位下とあり、隠島は、即郡内、因島なるべしされど、今島中九村に

分れ、各村に神祠あり、實錄、地名を言ざれど、今
いづれとも考へがたし、

八幡宮　宮内村にあり、所祭豐前宇佐宮に同し、
勧請のはじめ、詳ならざれど、別當神宮寺に持傳る、
豊田郡佛通寺開山、愚中の筆記には、天應元年
辛酉十月八日、勧請とあり、然れば、當社、經巻に
神護景雲二年、景中といふもの、書寫せし、一切經
あり、また、寶亀十年、万母化朝臣、多継男、氏成女

藝藩通志　卷

秋穂、書寫の經を蔵て、此時既に社ありしといふ説
もあり、又一説に、當社は、和氣清麻呂の姉、法均
尼、願て建る所なり、山城國、高雄神護寺は、和氣
氏の開基にして、神護景雲の經あり、當社の經
も、これと、同物にして、法均尼の持來りしなるべしと
云、國史を按に、法均尼は、神護景雲三年、當國に
配流せられ、神護寺は、延暦年中の創立にして、配
流に後るゝ、十年に過ざれども、かの寺の經を持

来りといふハ、誤なりけり、愚中が記に據れバ、天應ハ、神護寳亀の後なれど、かの経ハ、嘗て書写ありしを、後當社に納むと見へたれど、續日本紀に神護景雲元年九月乙丑、始造八幡比賣神宮寺、とあり、これ其名を言れバ、もし此時、諸國に神宮寺を建られしならバ、當社に、神護景雲二年の経ある、證とすべきにも似たり、いまだ、孰是なるを知らねど、應保三年、當山座主相尊、書写の経ある

と見れバ、應保初年既に社ありしハ、疑べうもあらず、祠官、三宅貞時が書記に、承元二年造畢とあるハ、必重修なるべし、又ふるき木箱を藏む、面に悲母請法性尊者、敵國降伏、修此地、朕又妙典、納此所、勅号神功護國寺、と書し背に、當山石碑文写、當座主佛子相尊謹書、とあり、文意詳ならねど、いはゞ、古物と見へたり、かくある紀社なれバ、昔より、當村および野畔、篝、津隈、屋中、福井、本庄、恒内、義

生、坂井原の千村、植野村の内、田上といふ地までも、八幡庄と呼て、今に至て、其諸村の民、同く當社を祭る、祠官五家、及び神宮寺、共に祭事を掌る、昔ハ宮司、祝師、供僧等、凡七十餘人ありしと云、又指揮と云職もあり、今津蟹村に、其宅址を存す、堅串村に、中納言宮、二位屋鋪などいふ地あり、或ハ云、當社に、むかし勅使ありしとき、館舎を置く地なり、昔ハ當社傍に、三重塔、準提佛母堂、内

楼外楼、蔵屋鋪、浴室などあり、東南の山に、虚空蔵堂あり、俗これを奥院と称す、今皆廃し、或ハ礎石を遺せり、社の東に、下馬天神とよぶ社あり、もと其地に、下馬碑ありしといふ、今存するもの、御供所、集会所、楼門、経蔵、鐘楼等あり、鳥居三を建つ、一ハ社を去ること三十町、本庄村にあり、昔ハ藤根村にもありしと云、今その址、田中に存す、末社に、若宮、春日、住吉、高良神等あり、皆宇佐の末社に、になし

また、佛道寺の地に、許許(こもと)神社といふあり、山を許
と称て、是は宇佐本山に擬せしなるべし、豊田郡
神社部に詳なり、毛利氏、當社に、五百九十石餘
の神田を附られ、また社用に給せられし銭穀、多
し、共に文書を存せり、其他、古経巻、及び古器数多
あり、中にも天逆鉾(あめのさかほこ)、駅路鈴(えきろのすゞ)などハ、神器なりとて、
殊にこれを重ず、嘉禎中、彫刻の佛経、板木なり
しが、今僅に数枚を存せり、神木、衣掛(きぬかけ)栗、七色(なゝいろ)樫(かし)、杉

の古木などあり、三原の市人、青木秀近、この社の
事に心を用ひ、景中及び相尊が書し、経文の跋
を摹刻し、あまた筆子など書集め、十餘年を経て、
其書なかば成しが、いまだ稿を脱せずして没しぬ、
八幡宮 東野村、塩崎にあり、天平元年、宇佐より、
勧請すといふ、傳記焼亡して詳なることを知べからず、別
當神宮寺、祠官と共に、祭事を掌る、また宮大夫、刑
部宮司、正官廳侍、祢宜等の職あり、此地ハ、むかし

長井浦と称し、神功皇后、三韓征伐の時、御船を
繋がせ給ひし所と云伝ふ、

高良神社　松戸神社　天満宮　並に同村にあり、
高良神ハ、武内宿祢を祭る、松戸ハ、諾冊二神を
祭り、木梨真人を配す、真人ハ、紀姓にして、昔郡内
木梨庄の長なりしといふ、

稲荷神社　江木村、亀甲山にあり、倉稲魂、伊奘冊
尊、瓊々杵尊を合祭る、杭庄八村の民、同く祭ふ、

杭稲荷と称せ、下津村に杭田とよぶ地あり、むかし
其地に、此社ありしといふ、田中に、昔より杭あり、因て、名とせ、祠官の
祖、秦某が筆記に、天暦元年戊辰、稲荷、所祭神三
座とあり、また社職の記に、稲荷宮注連頭、亀甲山
神宮寺、祠官秦吉光、祝白貞光、別当猪俣魚政、門
田利喜とあり、神宮寺是存て、秦氏以下もそれ
裔あり、また行法、硫黄山、福石寺といふもありし、
下津村に今その廃地あり、また注連の内社人と

称する者九人、祢宜(ねぎこ)女巫等、合せて十八名、供僧
寺凡十宇ありしといふ、供僧寺ハ、杉庄法村ニ散在せ、今ハ廃するもあり　天
暦年間に定むる所の祭事、神遊等の旧儀を、記せ
しを見るに、甚厳整なり、今も祭時に、庄内八村の
民、故家のもの、九十六名、社殿東西に、座列を分ち、
祭儀に与る、殿内にて、缸魚を撃て、神供とせる者
より、庖丁の家ありて、古式を守るといふ者十二町
餘の神田あり、今これなし、社傍に、釈迦堂あり、

末社二字、祇園社ハ、地主神と称し、稲荷神勧請
せしは、前なり、此社ありしといひ伝ふ、
艮(うしとら)神社　諏訪神社　並ニ同村ニあり
八幡宮　艮神社　天満宮　祇園社　並ニ後地
村ニあり、尾道町の所管なれど、尾道志ニ載せ、
八幡宮 権現社附　栗原村ニあり、普造のさしめ、詳ならず、
梅ニ郡内、本郷八幡宮ハ、此社の神を勧請すと
いへれバ、当社も、古き社なるべし、権現社ハ、池の

迫ニあり、雀の宮ともいへり、木梨村、故城主杉原氏の女を祭るといふ、

八幡宮　天満宮、権現社　並に吉和村にあり

亀石神社　槙宮　並ニ木原村ニあり、共ニ三女神を祭る、亀石社ハ、その社ニ、亀の形なる石あり因てかく號るといふ、

蒿神社　西野村宮沖新開ニあり、宝永中勧請、初ハ勝山ニありしといふ、

八幡宮　深村千川ニあり、三島神を同殿ニ祭る、元和二年丙辰造営、

八幡宮　久山田村ニあり

八幡宮　本郷村ニあり、栗原村より勧請すといふ神鏡二あり、一ハ康安二年、一ハ貞治二年と款記あり、又永久戊戌書写の経巻あり、永正十一年甲戌社を重修す、

天満宮　市原村ニあり

八幡宮　三成村にあり

六社権現　猪子迫村にあり祭神傳を失ふ

八幡宮　木梨村にあり文明年間村内鷲尾山城主杉原又太郎信平勧請し弘治乙卯杉原民部大輔元住再造すといふ昔神田七段三畝ありしと云

八幡宮　梶山田村にあり

八幡宮　稲荷神社　並に小原村にあり

八幡宮　明現社　並に菅村にあり

八幡宮　菅山方村にあり

八幡宮　大塔村にあり

八幡宮　仁野村にあり

八幡宮　僧殿村にあり

八幡宮　天神社　並に藻根村にあり

明現社　小國村にあり

八幡宮　諸毛村にあり

八幡宮　二所　下山田村にあり

八幡宮　大山田村にあり、天文二年癸巳、営造、

八幡宮　二所　宇津戸村にあり、一ハ地頭八幡と称す、勧請の始詳ならす、祠官、内海某、丹下某、共に祭事を掌りしか、後不和なることありて、延享年間、別に一社を建、これを領家八幡と称す、其時の文書に、任六波羅殿御下知所令中分也云々、延享二年乙酉九月廿七日、公文沙弥戒円、地頭御使友安と記す、

明現社　公文村にあり

祇園社　神村、僧堂といふ地にあり、初建知れす、天和三年癸亥、再造、按に、古事記に、山田曽冨騰と云神あり、地名をもて考れは、此神を祭しなるへし、近村に僧殿村あり、是まさしく此神名より起れるなるへし、

天神社　本村にあり、勧請の始、知れす、祠官、幣原家に、文明七年、備國別当といふもの、社務の事を

宮ぬし文書あり、

天神社　三郎丸村にあり

八幡宮　河南村にあり

天満宮　白太村にあり

良宮　大町村にあり

天王社　江田村にあり、祭神詳ならず、社地を竹宮といふ、おりふしに、神武天皇を勧請せしにや、

八幡宮　二所　権現社　並に畑村にあり、八幡宮、一ハ不計谷にあり、一ハ西の宮にありて、それハ天文三年甲子再造、

明現社　市村にあり

天満宮　大田村にあり

八幡宮　明神社　並に丸河南村にあり、高御調八幡宮と称え、其義詳ならね、明神社ハ、六所明神と称え、祭神詳ならず、天和癸亥再造

軍神社　天満宮　二所　並に本庄村にあり、軍神は

武内宿祢を祭る、

伊勢内宮 外宮 並に美生村にあり

天満宮 福井村にあり

天満宮 箕村に有り

天満宮 植里村にあり

天満宮 津蟹村にあり

八幡宮 野間村、中間山にあり、もと植里村、建石字よしふ地にありしを此に、天正十一年癸未再造、境

内に、祇園小祠あり、

天満宮 今田村にあり、建保四年丙子、千葉豊後入道、叙て建と云、

八幡宮 丸門田村にあり、萩宮八幡と称す、文保元年丁巳再造、

八幡宮 二所 徳目村、本徳目谷、小山田谷に、各一社あり

八幡宮 大原村にあり、天文十四年、一に廿四 通後信

秀二人とし姓を開く 毅て建ところ、堤田に王子社あり

天満宮 明神社 並に吉田村にあり、天満宮ハ、
元應二年甲辰、里人吉光某勧請、

明神社 若宮 並に菰原村にあり、共に祭神知
れず、

八幡宮 厳島神社 並に下津村にあり

八幡宮 和草村にあり

八幡宮 泉村にあり、天正二年甲戌、當村故城主

門田元賀勧請、

八幡宮 矢剱神社 並に羽倉村にあり、八幡宮ハ、
慶長十二年丁未、梶田某勧請

天神社 五所 坂井原村にあり

天満宮 明神社 並に恒内村にあり

八幡宮 重井村にあり、寛正年中勧請すといふ、正
徳の祀録に、永禄己巳修造、棟札の文を載たり、

八幡宮 田熊村、亀甲山にあり、相傳ふ、昔隣村土生

村、箱崎海邊の石に、神鏡流れ通留りしを、此に社を建て祭る、神鏡の背に、奉懸宇都宮大明神大前、永享二年四月朔日、西園寺北政所と記せ、又天文十八年の棟札あり、此年始て社を建るか、土生村、三庄村の民も、同くこの社を祭る、祭時に祠官、箱崎の石上に、供物を置き、祝詞を讀む、渡鳥來り啄む、これを、鳥喰神事と称せ、

天神社　同村天神山にあり

山神社　土生村にあり

王子社　祇園社　並に三庄村にあり、皆古き棟札あれど、文字見へがたし、

權現社　嚴島神社　並に同村にあり、權現社は、伊奘諾、伊奘冊二神を祭る、勸請年月傳らず、永正乙丑、地頭村上備中、吉充、社職等を定る文書あり、嚴島神は、寛永甲子に建る、

良神社　椋浦にあり、承應二年癸巳再造

厳島神社　鏡浦にあり
艮神社　外浦にあり
八幡宮　中庄村に祠り、文安五年戊辰営造、或ハ云仁和五年宮内村より勧請し、二の社にも、島喰神事あり、其式、粗田熊村におなじ
王太子社　大濱村にあり、祭神詳ならず
厳島神社　岩子島にあり
八幡宮　向島東村にあり、東宮とよぶ、相傳ふ、昔和泉式部此に来り、當社をたてしむ、今祠官の家に、古鏡あり、式部が所遺なりといふ、一説にハ、西村より勧請し、故に今東西二社の祠官、ともに祭儀を行ひ、西村を先とし、東村を後にすと、
艮神社　厳島神社　附天満宮　並に円村にあり、艮社ハ永暦元年庚辰勧請すといふ、社に木鉾(かこ)を蔵す、柄に長寛元年と款記す、村内別にとよぶ地の小祠に、天満宮あり、叢志に、菅公、此地に来るといへり、

藝藩通志　巻

是尾道の事と、誤傳ふるならん、尾道志ふ論え、併見る庵し、

厳島神社　千濱ふあり

辨財天社　天女濱ふあり

八幡宮　覚明社附　向島西村ふあり、一ふ西宮と称え、傳云、栗原村より勧請し、其時、彼社の鉾、及ひ假面を當社ふ納む、因てまた鉾八幡と称え、永禄元年當村岡島故城主村上吉満重修、覚明社ハ、木曽谷ふあり、木曽義仲の臣、大夫坊覚明を祭る、今誤りて、學明と書く

明現社　立花村ふあり、此社久しく廃せしが、寛永年中再造る、社の境内ふ、楠櫻二樹あり、神木なりといふ

湊神社　吉和塩濱ふあり、厳島神をまつる

祇園廃祠　栗原村大地とよふ地ふあり、何の時廃

するを知らず、村内祇園免といふ地もあり

八幡廃祠 植野村建石といふ地にあり、畦間村八幡宮、もと此地にありしといふ、今礎石を遺せ

恵美須廃祠 西野村茅町にあり

寺院 廃寺附

千光寺 真言宗 下同 大山寺 善勝寺 西國寺 並に渡地村にありて、尾道に属せ、事ハ尾道志に見ゆ、

明光寺 栗原村にあり、普門山と號せ、永禄十三年、僧宥遍再興

観音寺 木原村にあり、海雲山と号せ、初め鉢峰にあり、後に清水に移り、又今の地に移る、本尊の龕ハ、尼子家臣佐世伊豆か寄附といへり、

神宮寺　東野村無崎にあり、八幡宮の別當なり
しが、今ハ住僧なし、每歲除夕に、米田山下の神宮
寺の僧、來宿し祭事を行ふ、

吉祥寺　山中村にあり、北樹山と号す、

九品寺　木門田村にあり、谷岩山と號す、元祿元
年再興

圓廣寺　本郷村にあり、醫王山と号す、寶永四年
再興

北坊　下山田村にあり、

神宮寺　宮内村にあり、八幡宮に屬す

圓光寺　今田村にあり、青龍山と号す、傳云、承元
二年、僧秀榮、讃岐より來り再興す、本尊佛ハ千
葉豊後、關東より携來て、安置せりといふ、大般若
經四百巻を藏す、巻尾に、尾張左馬頭宥宗とあり、

淨土寺　同村にあり、甘露山と号す、寛延年中、回
祿して、寺記を失ふといふ、

千林寺　和草村にあり、佛宥彦中興、

浄土寺　田熊村にあり、恵日山と号す、天和三年再興

明徳寺　三庄村にあり、妙見山と号す、所蔵涅槃像の裏に、寄進大旦那、因島太守、村上備中守吉元とあり、其外、書写の大般若、又神佛の古画あり、

善徳寺　同村にあり、石井山と号す、寛永九年再興、

観音寺　同村にあり、恵日山と号す

神宮寺　向島西村にあり、亀甲山と号す、

浄土寺 律宗 下同　海龍王寺　萬福寺　吉祥坊　並に湊地村にありて、尾道に属す、尾道志に見ゆ、

極楽寺　猪子迫村にあり、五福山と号す、慶長十八年再興、

天寧寺 禅宗 下同　湊地村にあり、尾道志に見ゆ、

濟法寺　栗原村にあり、寶曆中國泰寺僧咲堂、隠居の後、此寺を建て居る、

妙音寺　吉和村にあり、大慈山と号す、寛正元年僧一咲開基、

西願寺　同村にあり、朝日山と号す、開基上に仁なし、

桂林庵　同村にあり、清光山と号す、寛永九年、僧悦岩開基、

阿弥陀寺　吉和渔師町にあり、壽量山と号す、文禄元年、僧桂岩開基

瑞光寺　東埋村にあり、藤掛山と号す

壽雲庵　同村にあり、朝日山と号す

西福寺　西野村にあり、大寳山と号す、元亀中安田新右衛門なるもの建立、僧宗用開基、僧心安再興

恵日寺　同茅町にあり、萬松山と号す、

東光寺　山中村にあり、醫王山と号す、僧虚白中
興
善昌寺　同村にあり、東福山と号す、
法泉寺　同村にあり、光谷山と号す、
金剛寺　深村にあり
玉林寺　久山田村にあり、瑞應山と号す、僧一咲
開基
光福寺　市原村にあり、寶珠山と号す、貞享四年

再興
德重院　三成村にあり、拈華山と号す、
摩訶衍寺　梶山田村にあり、大鵬山と称す、貞享
四年再建、もとは真言宗にて、木梨村鷲尾山故
城主の祈願所なりしと云
運西寺　同村にあり、大永山と号す、文安四年佐
藤理兵衛、同次郎兵衛再興、
世音寺　小原村にあり、補陀山と称す、萬治元年

元打畠より移とぞ、

善福寺　仁野村にあり、聖寿山と号す、

宗授庵　原根村にあり、法性山と号す、

積善寺　宇津戸村にあり、金剛山と号す、天和の比、僧丹峰中興、

観音寺　同村にあり、慈雲山と号す、天文の比、僧大極中興す、

禅河寺　吉田村にあり、潜龍山と号す、僧宗雲開基すとぞ、文明九年再建す、

瑞泉寺　江木村にあり、大龍山と号す、寛文七年再興、今ハ本堂頽圮せり、

蓮花寺　下津村にあり、観龍山と号す、古ハ真言宗なるを、中頃、僧雲岩改宗す、

善興寺　重井村にあり、通玄山と号す、寛永二年再興

對潮院　土生村にあり、梵音山と号す、慶長十三

年再興

地藏院　外浦にあり、願王山と号す、慶安元年建立、

金蓮寺　中庄村にあり、寶鏡山と號す、棟木に記あり、云建立文安六己巳八月吉日、領主村上備中守源吉資、願主沙弥明光、子息宮地大炊助大江資弘とあり、村上氏、當所青影山に在城の日、香花院たりしといふ、新建重造の別ハ、詳ならねど、村上氏、長門に移りて後、漸く荒廃して、寺記を散失せりといふ、又古尾三枚あり、其一ハ、寶德二年金蓮寺上晉、住持覺照房、金資快秀、大旦那、宮地大炊助沙弥妙光とあり、古筆數所あり、

長福寺　同村にあり、海雲山と号す、本尊ハ、道朝が作といふ、

成願寺　同村にあり、光明山と号す、寂星ハ、宮地大炊助大江光明といふ、後元禄五年再興、

見性寺　大濱村にあり、天海山と號す、大永七年、

藝藩通志　卷

田中右近再建、寛延二年重造せし、
阿弥陀寺　岩子島にあり、西光山と号す、
西金寺　向島東村にあり、歌島山と号す、伝云、和泉式部の建立にて、安置せる釈迦観音、共に其持仏なりと、その外にも遺物あるよし、旧記には見えねど、今ハ亡つり、古ハ大寺なりと見えて、寺に古瓦一二片を遺せるが、満面に経文を焼付、文永九年壬申と彫てあり、文永ハ亀山院の御宇なれバ、和泉式部よりハ遥に後なりけれバ、式部の建立と云も信がたし、但し文永に再建せるにや、
西提寺　同村にあり、補陀山と号す、寺記に云、此本尊観音像ハ、天暦五年の作なりしが、盗に奪ひ去られし故、治安二年、仏師定朝、更に一像を作りて安置す、其後故ありて、伊予国川上より、元の本尊を還し来る、故に今ハ二尊を安置すと、是等実事と見て、年序を推せば、当寺の開基いと古し

と見ゆれど詳ならねば、又田植観音ともよび、霊異の
説をいひ伝ふ、

地蔵院　向島西村にあり、海頭山と号す、佛像の肖
に記あり、云古代鞆津安國寺之末寺也、号二浄土
寺一、無住之時、末寺地蔵院之住僧兼住、依レ之人誤テ
称二地蔵院一ト云

重樂寺　同村にあり、安養山と号す

長福寺　同村にあり、圭復山と号す、

海徳寺 時宗 下同　常稱寺　海福寺　西江寺　慈観寺
正念寺　永福寺　水之菴　成福寺　極楽
寺　並に後地村に有りて、尾道に属す、尾道志
に見ゆ

光明寺 浄土宗 下同　實土寺　持光寺　正授院　信行
菴　念佛院　並に上に同じ、

蓮臺寺　義生村にあり、九品山と号す、天文の比、
澁川右衛門佐義陸、建立、もと歌島に有りしが、澁

川ゝ小童山ニ城を移さる時、此寺を當地ニ引といふ、

廣福寺　宮内村ニあり、乾照山と号す、天正年間、僧長閑中興、

妙宣寺　法華宗　下同　段地村ニあり、尾道志ニ見ゆ、

妙渇寺　梶山田村ニあり、龍口山と号す、

妙教寺　小原村ニあり、法登山と號す、永正三年開基、

本照寺　市村ニあり、城本山と号す、文安元年、僧日親開基、天正十三年、池上因幡再建、

浄泉寺　真宗　下同　福善寺　並ニ段地村ニあり、尾道志ニ見ゆ、

菩提寺　栗原村ニあり、

大通寺　中野村にありしか、もと禅宗なりしを天正元年、僧覚信改宗す、

永正寺　畑村ニあり、眊席山と号す、此寺もと佛通

寺派の禅寺なりしが、正保年中、既に廃しぬるを
を、僧理圓再興して、宗旨を改む、
照源寺　市村にあり、久本山と号す、明應年中、僧仙
源開基、天正年中、池上因幡再建
光林寺　木梨村にあり、亀谷山と号す、
最圓寺　小原村にあり、花里山と號す、元禄十二
年再建、
照善寺　宇津戸村にあり、本尊佛の背に、勝善ノ

阿弥とあり、されば、もと勝善の字を、用ひしにや、
又曰、始め圓壽寺とて、浄土宗なるを、後照源寺
の僧盛閑、改宗して、名を改むと、
圓龍寺　本村にあり、清水山と号す、元和元年開
基、
福成寺　平村にあり、太平山と號す、もと禅院な
りしが、天正年中、僧善念、真宗に改む
金剛寺　九河南村にあり、もと禅宗なり、天文の

藝藩通志　巻

比、僧了智改宗す、

正典坊　丸門田村にあり、始め本庄村にありて、願成寺とて禅院なり、元亀年中、僧専西、此地に移し、宗旨寺号、共に改む、

専光寺　下津村にあり、遍照山と号す、開基詳ならず、承應年中、僧廣尊より相續す、

法泉寺　和草村にあり、僧浄信開基、

光德寺　同村にあり、明應五年、僧好晴開基、一小

天文十年の開基とも云、

廢正覺寺安養寺　共に澁地村にあり、正覺寺は、享保中に廢す、今小堂遺佛ありて、寺名の額を存す、安養寺ハ、天和中に廢す、本尊佛具等を本寺、三原大善寺に入る、

廢河内寺、慈觀寺、寶土寺　共に栗原村にあり、河内寺ハ、真言宗なりしが、火災に遭て廢す、一小堂

ありて、昔の本尊夫侍佛を蔵む、但寺址ハ、山叢
なり、今の堂ハ、延享ニ再建して、地を移せしと云、宝
土慈観ハ、後地村ニ有しか、二寺の舊址なり、

廃西光寺　吉和村ニ有り、小堂を存せり、

廃観音寺　木原村、鉢峯ニあり、今虚空蔵堂、古墓
あり

廃長福寺　東野村、時宗と云地ニ有り、今田圃と
なれり

廃極楽寺　同村兵崎ニあり、観音小堂有り、此堂も
と瀑泉の下ニあり、故ニ土人、今ニ瀧観音とよぶ、

廃西光寺　同村是園ニあり、正分の小堂ニ、古佛
を遺せり、正分ハ当村の内なり、

廃観音寺福泉寺　並ニ同村ニあり、観音堂有り、

廃極楽寺　同村ニあり、今田圃より、俗ニ極楽寺前
とよぶ、今米田山下の極楽寺、もと此地ニあり

廃門■寺、林松寺　並ニ西野村ニあり、共に小堂

を存す、

古寺址　同村、足焼谷にあり、寺名を失ふ、畠圃に茶を生す、

廃表教寺、西福寺　並に山中村にあり、阿弥陀堂を存す、表教寺ハ、村内、茶臼山故城主、建し所といふ、二王門跡に、一つ礎石を存す、また盥盤の臺石あり、

廃龍泉寺　同村にあり、もと龍王山と号す、今小堂あり

廃東福寺　同村にあり、阿弥陀堂を遺す、山に古墓あり

廃西福寺　同村にあり、城平山故城主の所建今観音小堂を存す、

廃正光寺、萬海寺　並に深村にあり、正光寺址にハ、古墓数多あり、村の故城主、石原氏が菩提所なりしといふ、萬海寺ハ、寺号存するのミ

廢天満寺　久山田村、信末山の傍にあり

廢文殊寺　中野村にあり、寺地に小堂ありて本尊佛なども置しが、寛政の比、堂を横路といふ地に移し、寺地ハ、地名のミとなる、

廢濟法寺　本門田村にあり、地名に存せり、

廢東禅坊　本郷村にあり、小堂古墳を存せ、下山田村、小の坊の旧地なりといふ、

廢浄泉寺　市原村にあり、尾道浄泉寺の舊地なりといふ、

廢地福寺、浄正菴　並に木梨村にあり、名小堂を存せ、浄正菴ハ、もと浄泉寺とて、杉原家の菩提所なりしともいへど、詳ならざれ、

廢東光寺、中泉寺　並に木梨山方村にあり、名小堂を存せ、中泉寺地の堂に、棟札あり、もと醫王山薬師院と號して、楢子迫、極楽寺の末葉、木梨家の祈願所なりしが、慶長十年、堂宇焼失せりと

藝藩通志　巻

あり

慶満願寺　菅村にあり、小堂厨舎、一喚鐘を遺す、

慶圓通寺　大塔村にあり、小堂ありて、觀音、毘沙門、藥師、三像を置く、俗に黄金佛とよぶ

慶金龍寺　仁野村にあり、小堂を存す、

慶圓照院、德壽庵　並に篠根村にあり、上ハ山林、下ハ民の宅地となれり、各古墓を遺す、

慶萬福寺　諸毛村にあり、高野へ移して、寺廢す

とりひ傍に、寺地に小堂あり、佛像を置く、

慶寳壽寺　大山田村にあり、藥師堂を存す、

慶丹下寺、圓壽寺、経所菴、福傳菴、長善庵、常光菴、西林坊、南光坊　並に宇津戸村にあり、各小堂存佛あり、又村の楢谷に、寺とよぶ地あり、小堂あり、是も寺地なるべし、

慶地觀寺　貝原村にあり、古井あり、

慶西光坊　岩根村にあり、地に觀音堂あり、

廢東里菴、芭蕉菴、東林菴　並ニ三郎丸村ニあり、地に古墳卯塔數所あり、

廢極樂寺、淡地菴、泰古菴　並に河南村ニあり、極樂泰古二地ニハ、小堂を存し、泰古菴ハ、村の八幡社の別當なりしといふ、

廢清岸寺、横山寺、惡之坊　並ニ中原村ニあり、岡の坊の地ニハ、小堂ありて、古の本尊佛を遺せり、餘の寺地は、今盡田となる、

廢蓮花寺　畑村の内蕪石ニあり、地名のこし、

廢大羽寺、大慶寺　並に丸河南村ニあり、大羽寺の跡にハ、小堂を存し、大芝寺地ハ、石佛を餘せり、

廢天德寺、善能寺、德昌寺、德萬寺、正福寺、淨泉寺、推弘菴、願成寺　並に本庄村ニあり、天德以下三寺地ニは、各小堂あり、其以下四寺ハ、地名のこし、願成寺ハ、今丸門田村、正典坊の舊地なり

廢東海寺、專光寺、上坊下坊　並に募生村ニあり、

地名のミ、
廢中之坊　宮内村にあり
廢東専坊、常楽寺　並に野串村にあり
廢法泰寺　屋中村にあり、
廢釈善寺　蕃村にあり、小堂を遺せり、
廢長福寺　植野村友信谷にあり、小堂あり、
廢専福寺、養福寺　並に津蟹村にあり
廢北山寺　今田村にあり、石礎石碑存り、又地名

も、本門、裡門およひ、又一小堂あり
廢願成寺　丸門田村にあり
廢金蔵寺、圓通菴　並に徳永村にあり、上の地には、
阿弥陀堂、下は毘沙門堂あり
廢岩倉寺　傍目村にあり、傳云、もと木梨故城主
杉原氏、その護身佛を置ける寺なりし、寛文中に
焼たり、宝暦中にいたり、小堂を建て、焼残の佛像
を修めて、安置せし、

廢箱石寺、吉祥寺、道浄寺　並に下津村にあり、名小堂あり、
廢積善寺、西楽寺　並に和草村にあり
廢東仙菴、西光寺、多門寺、千歳坊　並に泉村にあり、共に小堂を存す、
廢蓮光寺、南光寺、南正院、安應寺、梅林寺、真浄菴　並に羽倉村にあり、南光寺址に、小堂を存し、梅林寺址にも、石碑一基を遺せり、真浄菴ハ、當村の故

城主、末近氏が菩提所なりしといふ、
廢涌池菴　坂井原村にあり、観音堂と、古井とあり、又袈裟掛石、晉掛石などいへるあり、佛通寺、愚中入唐の帰路、憩舎の地なりといふ、
廢無量寺、正光寺、天秀菴、長福寺　並に重井村にあり、名古墳あり、長福寺ハ、細島にあり、
廢實持寺、長源寺　並に土生村にあり、實持寺ハ、地蔵堂を遺せり、二寺ともに古墳あり、

廢圓妙寺、長福寺、圓福寺、妙法寺、金重寺、圓花坊、

並ニ三庄村ニあり、金重以上ハ、各小堂あり、

廢金蔵寺　棟浦ニあり、今観音小堂ありて、其棟札ニ、萬治三亥八月再興施主當浦甚左衛門とあり

廢法大寺、圓命寺、高泉寺、潮音寺、　並ニ中庄村ニあり、法大圓命二寺の址ハ、各小堂あり、高泉寺址ニハ、古墳あり、

廢明光寺、長泉寺、地福寺、大正寺、西法寺、阿彌陀寺、

並ニ向島東村ニあり、明光長泉地福の三寺址ニ、各小堂草菴などあり、その他ハ地名のミ、

廢水之菴、持源院、圓光坊、浄楽寺、寶珠菴、　並ニ向島西村ニあり、共に小堂を存ス、

古寺址　立花村余崎ニ寺屋敷といふあり、村上氏が菩提所ありしが、後中庄村金蓮寺ニ引うつせし、今ニ卯塔などあり、

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan